

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.8 (2019年1月発行)



あそうかずひで
浅生和英

このももこ
金野桃子

さかいいくろう
酒井郁郎

さとうたかのぶ
佐藤太信

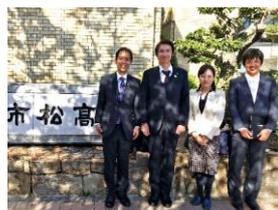
やざわはるか
矢澤青河

12月定例会が閉会しました。本定例会では、大雨による浸水対策、戸田第一小学校の建て替え工事等を議論しました。そして、戸田の会が推進してきたイオンモール北戸田での期日前投票所の新規開設が今年4月の県議会議員選挙より実現の運びとなりました。また、昨年11月には会派報告会を開催し、参加者の皆さんと市政の課題を議論しました。私たち戸田の会は、政治は身近なものと感じていただけるよう、これからも駅頭活動や会派報告会を続けてまいります。

会派視察 高松市役所と松山市消防局を視察!

■ 所属・担当協働推進員制度 @香川県高松市

戸田市で導入を検討中の地域担当職員制度を視察。高松市では、市民活動団体等との窓口を担う「所属担当」と地域行事等の町会活動に職員が参画し、地域と行政を繋ぐ「地域担当」に分かれているのが特徴的でした。制度導入に向け、今後も調査研究してまいります。



■ 危険物規制事務の一本化 @愛媛県松山市

松山市消防局での高圧ガスと液化石油ガスの許認可事務等の権限を県から市へ移譲を受けて、危険物の窓口を一本化する取り組みを視察。職員提案で実現した事業で、一体的な保安体制や同時申請等による効率化や経費削減の手法、「攻めの行政」など熱意あるお話を伺いました。



平成30年12月議会 各委員会報告

■ イオンモール北戸田に期日前投票所開設

Q. イオンモール北戸田期日前投票所の概要は?
A. 4/7(日)の県議選で開設予定。4/4(木)~6(土)10-19時、場所は1階さくらそう広場(無印良品前)。美笹地域の期日前投票場は前半笹目コンパル、後半イオンで開設する。

【美笹地域】	3/30±	31日	4/1月	2火	3水	4木	5金	6±	7日
笹目コンパル	←	←	←	←	←	←	←	←	←
イオン北戸田									→

■ 戸一小改築等工事設計業務 約1億5300万円

Q. 事業の概要や今後の進め方、子どもの安全対策は?
A. 校舎老朽化と児童増のため、2023年開校を目安に建て替えを行う。地域住民等を交えた検討会で協議を進める。運動場代替地までに横断歩道の設置を検討する。



▲運動場代替地

酒井いくろう

【高齢者】いつまでも元気で楽しめる町に！



会派代表

1975年3月4日生、無所属、3期目
【学歴】東京大学医学部卒業・修了
【職歴】マッキンゼー(経営コンサルタント)、(株)ポピンズ(保育)、医学教育事業
【委員会】衛生センター(議長)、議会改革(委員長)、市民生活他

■「人生100年時代」に対応した町づくりを！

【背景】だれもが元気で長生きできる時代がやってきます。今の子供の半分は、107才まで生きるという予測も出ているとのこと。びっくりですね！健康寿命を延ばし、高齢になっても元気に活動できる社会を作らなくてはなりません。

そのためには、考え方や税の使い道を抜本的に変える必要があります。特に、①シニアの就労促進、②健康づくり、③交通手段やバリアフリー化、活動のための情報提供など社会活動を支える環境づくり…など幅広いとくみが欠かせません。

現在も、長寿介護課を中心とした福祉部門が、高齢者政策を推進しています。その一方で、それ以外の部局からの反応は、今回大変鈍かったと感じました。組織のたてわりの中で、高齢者政策を自分ごととしてとらえる意識が無いのは、ある意味想定通りです。

菅原新市長は、健康長寿の総合的な取り組み「スマート

ウェルネスシティ」を公約として掲げています。トップのリーダーシップにより役所を挙げて取り組めば、「長生きで元気に楽しめる」という利点を生かした、素晴らしい時代がやってきます。それができなければ、戸田市政策研究所が予測したとおり、「医療福祉コストは膨張、それに伴う財政の危機的状況と市民サービスの低下」という、絶望的な未来が現実になるでしょう。

酒井 ①地域における高齢者就労の場として人気のある、農業・園芸分野や、子育て・教育分野の職種を開拓し、高齢者の就労人口増を図っては。②民間スポーツクラブの利用支援、ウォーキングステーションや温水プールの整備等、高齢者の健康づくりのすそ野を広げては。③トコバスの無料化、先進的なリハビリ施設の誘致、高齢者に交付する文書のわかりやすさ向上等、社会活動をやすく。

部長 各部署・機関と連携し、高齢になっても地域で健康に生きがいを持って安心安全に暮らせる社会を目指す。



◀ 高齢者が就労。イチゴ農園を併設したリハビリ施設「夢のみずうみ村」ぜひ、ホームページをご覧ください。
<http://www.yumenomizuumi.com/>



※画像をクリック

こんの桃子

【冠水】市内各所で被害！対策を！



会派幹事長

1983年3月2日生、無所属、2期目
【学歴】慶応大学、同大学院修了
【職歴】国会議員公設秘書
【委員会】文教・建設、議会運営、議会改革他
【その他】防災士、全国手話検定1級

■新市長のもとで早急な冠水対策を！

こんの 今夏を始め、これまで戸田市は何度も各地が冠水した。戸田市は地勢上、荒川に向けて地盤が低くなり、上戸田や新曽や笹目など地盤に差がある場所で被害が集中している。冠水対策は最重要課題であり、早急な対策を。

上下水道部長 地域ごとに要因が異なるが、基盤整備を進め、県に河川放流の協議をし、国の補助金の獲得に努め、更なる対策に取り組む。

こんの 南陵高校前のアンダーパス(地下道)は、非常時は電光掲示板で掲示されるが、常時から注意喚起できるように道路等に標示しては。



▲戸田駅の浸水状況



▲地勢図



▲アンダーパスの標示

都市整備部長 有効な手段であり、設置を検討する。

■北戸田駅(不審者ワースト1位※)の防犯を！

こんの 北戸田駅が不審者発生件数の県内ワースト1位だ。防犯灯の増設や見回りの強化を。

市民生活部長 引き続き、見回りを強化する。 ※日本不審者情報センター



▲北戸田駅周辺

■多子世帯にサポートを！

こんの 多子世帯を応援するため、県の「3キュー子育てチケット」(第3子に5万円のクーポン券配布)に市独自の上乘せを。

子ども青少年部長 実施に向け検討する。



▲子育てチケット

■結婚・出産等の記念樹の見直しを！

こんの 結婚・出産等の記念品として苗木を差し上げているが、昨今の住宅事情を考慮し、子育てグッズ等を検討しては。

環境経済部長 あくまで緑化推進のための記念樹であり、見直しは今後の研究課題としたい。



▲戸田市の記念樹



1968年4月25日生、無所属、1期目
【学歴】法政大学卒業
【職歴】山一証券株、美容室VASE代表
 戸田市スクールソーシャルワーカー
【委員会】健康福祉、交通対策他
【その他】社会福祉士、精神保健福祉士

■ポイ捨て、歩行喫煙条例に罰則を！

【喫煙制限区域で喫煙やポイ捨てが依然として目立つ】

あそう 条例施行から10年、喫煙制限区域指定から3年が経つ。依然、マナーの悪さが目立つ。条例に罰則を。

環境経済部長 ルールを守らない人への対策として、隠れて喫煙している人に対し、喫煙制限区域内における巡回啓発員の見回り回数の増加や、時間やコースのランダムな設定による不意打ち的な見回りの実施を行う。また、罰則は抑止効果が見込める、導入を検討する。

市長 罰則導入は、可能な限り早い実施を指示している。



▲駅前コンビニと連携

■水害時の備えを！

【防災備蓄倉庫などの備蓄品、機器が水没の可能性】

あそう ①現状の把握は②指導や対応は③美女木小での

※イクボス：部下や同僚の育児・介護等に配慮・理解のある上司(イクボス)をいう。政府もイクボス宣言を広め、働きやすい雰囲気作りに取り組みたい考え。(厚労省HP)

水害避難訓練を他地区でも実施を④水害時の対策本部は⑤大規模水害時でも自家発電設備は稼働するのか。
危機管理監 ①多くが地上や建物の1階に設置されている②自主防災会などに設置場所等の指導などは行っていない③美女木小での水害避難訓練は他地区でも展開していく④市役所本庁舎に置く。

財務部長 ⑤燃料は3日間分あるが、浸水時、電気は供給できない。

あそう 対策本部の設置場所についても研究を！

■職員の働き方改革を！

【ワークライフバランスの更なる推進を】

あそう 昨年6月、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立した。本市の職員に対してもワークライフバランスの推進が必要である。

総務部長 イクボス※セミナーへ市長・部長職・次長職が参加した。多様な人材が多様な働き方を選択できる労働環境を整備する。

市長 市民が安心して市政運営を任せられるような職員であり続けるよう、自ら実践する。



▲戸田市が開催したイクボスセミナー



1980年5月18日生、無所属、1期目
【学歴】中央大学、大正大学卒業・修了
【職歴】東京電力、児童福祉施設、乳幼児教育相談、スクールカウンセラー
【委員会】総務、議会広報他
【その他】臨床心理士

■債権管理情報の共有を！

【背景】 戸田市の収納率は、個人市民税については94.2%で63市町村中54位、国民健康保険税は64.2%で59位と県平均に達していない。平成26年7月に債権管理適正化推進委員会を設置し、債権管理の情報共有、債権確保に取り組んでいる。当委員会は年3~4回実施しており、会議の取組や成果については、市民への周知を図るため市ホームページに掲載をお願いし、今後公開を予定している。

佐藤 督促状を減らし、納期内納付率を高めるために、①納付書記載のバーコードを読み込むスマートフォンアプリ収納サービス、②ネットで口座振替手続きを導入してはどうか。

財務部長 ①市で経費の負担がないことから導入を進めたい。②印鑑がなくても口座振替手続きができる環境が整備されていることから今後の研究課題とする。

佐藤 広告収入は平成29年度約144万円、歳入増加や封筒など現物提供によって歳出を抑えるため5点提案する。

①広告付きAEDの導入、②道路以外の他施設におけるネーミングライツ、③ふるさと納税クラウドファンディング、④市役所地下食堂掲示板の広告活用、⑤納税用封筒のみならず、窓口封筒など活用の枠を広げてはどうか。

財務部長 ①導入の検討は慎重に進める。②他施設に活用できるか検討する。③自治体のプロジェクトに対してふるさと納税を募るものであり有効な手法であると考えている。④歳入確保策の1つとして検討する。⑤庁内各課に導入手法について周知する。

■市職員の障害者雇用について

佐藤 昨年10月、全国自治体で障害者雇用率の算定方法に不適切な事例がみられた。戸田市職員の雇用環境の整備、ワーキンググループの設置、新たな任用制度の確立を。

総務部長 職員が特別支援学校や就労支援施設等の関係者からノウハウを習得し、各種団体が実施する研修にも積極的に参加する。障害者雇用のあり方を検討するうえで「障害者施策推進協議会」に協力を依頼。知的・精神障がい者の雇用、新たな任用制度の確立を含め検討を進める。

佐藤 環境整備は大きな課題であるが、環境を変えていけるのは現場で働いている市職員の方々である。全庁的な取組みを展開していけるようお願いしたい。



1986年5月21日生、無所属、1期目
【学歴】鹿児島大学卒業
【職歴】ラチオつくば(FM放送局)、
 県議秘書(6年間)
【委員会】総務(副委員長)、議会広報他
【その他】消防団、防災士

■美笹等今後の自転車道の整備予定は？

やざわ 平成30年6月、自転車活用推進計画^{*}が閣議決定された。自転車事故が多い戸田市だが、未だ美笹地区など西側地域は自転車道が未整備。今後の整備予定は？

都市整備部長 西側は今年度、北大通りイト前から笹目地区へ整備を予定。今後も延伸する。国道や県道も要望等行い、国道298号や県道新倉蕨線等の整備が実施。



^{*}自転車活用推進計画：安全を確保しつつ、環境や災害、健康増進など他分野に渡る自転車の活用を推進する計画。200の地方自治体での策定を目標としている。

やざわ 民間参入など普及するシェアサイクルの状況は？
総務部長 8月に民間事業者と包括協定を締結し、市内に合計6か所設置されている。

やざわ 他分野に渡る自転車施策推進には、自転車活用推進計画策定も一つの考え。自転車活用の全庁的な推進を。

■第3子以降給食費減免

やざわ 市長公約の第3子以降の給食費減免実施は？

教育部長 財源も考慮し、早ければ来年度実施を検討。

やざわ 多子世帯を応援するこの制度の概要は？

教育部長 対象は19歳未満を第1子として、第3子以降の市内小中学生。補助額は給食費の半額で一人当たり年間約2万円。試算では推定約1,000人が対象で約2千万円の予算が必要。制度周知は、学校からの保護者向け通知文等やHPや広報への掲載などを考えている。

【備考】 **【委員会の報告より】** 学校給食では、保護者が負担する材料費以外に人件費や配送費等、毎年数千万円を市が補填しており、課題となっていました。戸田市の学校給食費の保護者負担は小学生3,700円、中学生4,000円と県内最安値。今議会の委員会において、給食費300円の値上げの報告があり、県内平均を少し下回る金額となります。

会派活動

その他の活動について

戸田の会 市政報告会 2018.11.11

毎年、会派として市政報告会を開催。今回は「白田の湯の存続」や「町会・自治会の在り方」などのテーマで参加者の方々と有意義な議論を行いました。



■白田の湯の存続

【概要】 年間約8,000人の市民が利用する市保養所として長年親しまれてきた。一方で、約1億円もの税金が、毎年投じられている。医療や介護ではなく「保養」目的の施設でもあり、役所内部では廃止を含めた検討がなされている。

【ご意見】 (利用者の皆様より)「何とか白田の湯を残してほしい。」「廃止を言い出すにしても、収支などの情報公開や、利用者からの意見聴取など、市民との対話を行うべきだ。」

■町会・自治会の在り方

【概要】 地域の高齢化、加入率低下、役員のなり手不足など、地域コミュニティの中心である町会の運営が危うい事態にある。町会の負担軽減や地域コミュニティの強靱化のためにも、今後の町会・自治会の在り方についての検討が必要である。

【ご意見】 「防災上で重要な役割を担う。」「若者や子育て世代が積極的に関わる姿勢と受け入れる環境作りが大切。」「市の下請けではなく、自治意識を持った地域コミュニティの醸成が重要。」



地域防災議員研修会

2018.11.20 @戸田市文化会館
 防災研究者の片田敏孝氏の研修に参加。未曾有の災害に備え、「自分の命は自分で守る」姿勢を地域に根ざし、主体的な地域防災を目指してまいります。

政経懇話会研修会

2018.12.11 @戸田市文化会館
 内閣官房参与、国土強靱化論の第一人者である藤井聡氏の研修に参加。財政政策によるインフラ投資や公共工事政策など多岐に渡るお話を伺いました。



ご意見募集中!

市政への皆様のご意見をお寄せください。

- ① ホームページから: todanokai.com
- ② 電子メール: info@todanokai.com
- ③ 電話/FAX: 048(871)6391
- ④ 郵送: 〒335-0034 戸田市笹目5-4-15

埼玉県戸田市議会
戸田の会

